

土佐市支所管内より



目指すは農林水産大臣賞!

もりた しゅうへい
森田 修平さん(40)

2012年に脱サラして、東京から戻り、祖父の文旦畑を継いだ修平さん。JAや振興センターに聞きながら、ほぼ独学で栽培方法を習得しました。「図書館で本を借りて、1年で100冊ぐらい読みました」と話します。

今では品評会で受賞するほどの腕前に。「いいものを作ったらお客さんが増えるので、農業はおもしろい」と笑う修平さんの次の目標は、農林水産大臣賞です!

父から娘へバトンタッチ

ばんどう しょうじろう
(右) 坂東 祥二郎さん(79)
みき
(中央) 美紀さん (47)
くに
(左) 国さん (77)

「仕事をがんばる子。来年が楽しみ!」と話す祥二郎さん。「がんばる子」は美紀さんのこと。1月1日に仕事をバトンタッチします。

美紀さんは数年前から両親の栽培する露地ピーマンを手伝っていました。祥二郎さんがつけていた農業日誌は、1月から美紀さんがつけます。「優しく教えてくれる父に感謝。ポチボチがんばります」と力まない姿勢にほっこり。

斗賀野支所管内より



仁淀川
地区

から こんにちは 今月の○○ 気になる人

仁淀支所管内より



長者のアイドルです♡

リンちゃん(メス・トイプードル・11歳)
飼い主: 梶屋 慶男さん
幸子さん(妻)

幸子さんがお出かけするとき、いつもリンちゃんを連れているので、長者では超有名♡ そんな幸子さんLOVEなリンちゃんですが、家でゆっくりしたいときは、慶男さんの元へ。幸子さん曰く、「慶男さんはソファでじっとしているから居心地がいいのでは?」とのこと。幸子さんには、おなががすいた時や雷が怖い時に寄ってくるそうです(笑)

尾川地区のNEW人気スポット

やまさき たいき
山崎 太貴さん(29)

10時の開店から客足がたえない「おかしの家 Repos」。尾川地区出身の太貴さんが9月に開いた新しいお店です。子どもの頃に、母親と一緒にケーキを作ったことがきっかけで、パティシエを目指すようになりました。

ショーケースには佐川町でとれたフルーツなどを使ったケーキが並びます。「みんなに愛されるケーキ屋さんになりたい」とキラキラした笑顔を見せてくれました。

佐川支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 地域貢献 ザクッと刈り取り！ 佐川小で稲刈り体験



真剣に稲刈りをする児童

青壮年部佐川支部は10月14日、佐川小学校の5年生45人と稲刈り体験を行いました。14年前から続く恒例行事で、児童らは青壮年部員らに鎌の使い方を教わって稲刈りを体験しました。参加した児童は「ザクッとザクッと切れる感じが好き」「初めての体験で楽しい」などと笑顔で話しました。同支部の田村和志支部長は「家庭や給食でご飯を食べるときに、田植えや稲刈りをしたことを思い出してほしい」と話しました。

3 販売 秋冬番茶の出番です！ 佐川支所茶生産部



荒茶の仕上がりを確認する曾我さん

佐川支所茶生産部会は10月、秋冬番茶の摘採を行い、部会員10人が「やぶきた」の秋冬番茶を出荷しました。同支所の緑茶加工場では、秋冬番茶の総出荷量は例年並みの38トでした。同支所営農経済課の曾我幸司さんは「長梅雨の影響で二番茶の摘採タイミングが難しかったが、きれいな葉が出そろっている。品質は良好」と話しました。同部会の番茶は佐川支所の店舗で取り扱い中です。

6 組織活動 味噌作りを伝授 女性部土佐市地区



蒸しあがった米に麹菌をつける玉木さん（右から3人目）と参加者

女性部土佐市地区は10月29日、31日に、カルチャー教室「手作りみそ体験」を開き、女性部員や管内外の地域住民ら12人が参加しました。女性部北原支部の玉木周子さんから米の蒸し方や麹菌のつけ方を学び、3日間かけて麹を作りました。3日目には茹でた大豆と麹を混ぜて仕上げました。参加者は「手際よくするコツを知ることができた」「大豆と麹と塩のバランスについて学べた」などと喜びました。

4 組織活動 今年も美味しくできた！ 焼き肉のたれづくり



焼き肉のたれを作る部員

女性部戸波支部は10月9日、土佐市で焼き肉のたれづくりを行い、16人が参加しました。同支部では約20年前から焼き肉のたれを作っています。レシピは部員のオリジナル。エコープマーク商品の丸島醤油をベースに、リンゴや梨などを入れて、マイルドで旨みのあるたれに仕上げました。同支部の宮地幸支部長は「コロナ禍で活動自粛のなか、たくさんの方に集まってもらえてうれしい。家庭で使うのが楽しみ」と話しました。



新高梨の糖度を測定する児童と森沢部会長

1 地域貢献 「ナシ博士」になろう！ 伊野南小で出前授業

高知県の町、JA高知県伊野支所、県中央西農業振興センターなどは、10月6日、同町立伊野南小学校で、「ナシ博士になろう」と題した出前授業を行いました。同校の3年生児童23人が授業を受け、「ナシ博士」の称号を受けました。伊野支所の萩野汰一郎さんが、県内やいの町内で作られる果実や果樹産地、出荷時期などを説明しました。梨生産者で同支所マルイ果実部の森沢豊和部会長は、梨栽培の1年間のサイクルを紹介。美味い梨を作るために、病気や虫の被害が少なくなるように工夫していることを伝えました。その後、糖度計を使って新高梨の糖度を測る実験を行いました。果実の上部と下部で糖度が異なることを確認し、試食した児童は「甘くてめっちゃうまい」「どろろを食べてもいい」と笑顔を見せました。森沢部会長は「10月になったら『新高梨の時期だな』と思いついてほしい。旬の果実を食べてもらいたい」と話しました。



ビーマンについて学ぶ児童ら

2 地域貢献 天敵昆虫を知って 北原小で出前授業

とさし営農経済センター販売課は2012年から土佐市の「土佐市食育推進計画」の一環で、管内の小中学校での出前授業を行っています。10月28日には、土佐市立北原小学校で4年生8人を対象にビーマンの出前授業を行いました。土佐市立給食センターの職員が給食で使用した食材のほとんどが高知県産で、その中でもビーマンやシヨウガ、ネギは土佐市産であることを伝えました。新居支所経済課の山本康博さんと、同センター営農指導課の寺田広貴営農指導員はビーマンの定植時期や作業内容、天敵栽培について説明。天敵昆虫の小ささを伝えるため、天敵昆虫が入っていた空容器を児童らに渡し、容器に入る天敵昆虫の数や量などを伝えました。児童らは「ビーマンに悪さをする虫を、退治する虫がいることにびっくりした」と驚きました。山本さんは「土佐市では天敵昆虫を多く利用している。安心安全な地元の野菜を利用してほしい」と話しました。

あなたもチャレンジ！ 家庭菜園

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

落ち葉堆肥と生ごみ堆肥

園芸研究家 ● 成松次郎

「落ち葉堆肥とは」
 広葉樹の中でも、ケヤキ、コナラ、クヌギなどが堆肥材料に適しています。落ち葉堆肥とは、落ち葉に米ぬか、油かす、骨粉などの有機質肥料を加えて発酵させた物で、肥料分を含んだ堆肥になります。

「落ち葉堆肥の作り方」

- (1) 壁を利用したり、ベニヤ板でコの字形などの囲いで堆積場を作ってもよい。(2) 落ち葉を20cm程度の厚さに積む。米ぬかや油かすなど(落ち葉の重さの1~2%程度)をサンドイッチ状に積み重ね、水をたっぷりまいて踏み固める。(3) これを繰り返して1mくらいに積み上げる。(4) 1カ月1~2回程度切り返し、落ち葉がポロポロに崩れてきたら(1年程度)完成です(図1)。

りの大部分が有機物です。乾燥させて水分を飛ばすだけで減量し、元の重さの5分の1以下になります。生ごみ堆肥ではありません。生ごみに米ぬかや油かすなどを加えて発酵させた物が生ごみ堆肥です。

「生ごみ堆肥の作り方」

- (1) 釣り鐘形のプラスチック容器(コンポスターなどの名称で販売)やポリバケツ(ふた付き)の底を切り取った容器を、土中20cm程度の深さまで埋める。(2) 水を切った生ごみを投入し、同量の乾いた土や落ち葉を重ねて入れる。容器が満杯になるまで繰り返す。悪臭や虫の発生を抑え、生ごみの分解を早めるために、米ぬかをまぶしておくが良い。(3) 満杯になった後、1カ月以上放置しておく。一般家庭では、200L程度の容器を2個使い、1個目

図1 落ち葉堆肥の作り方

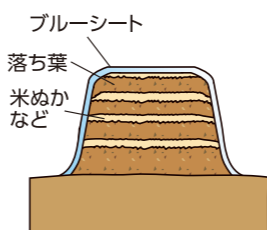
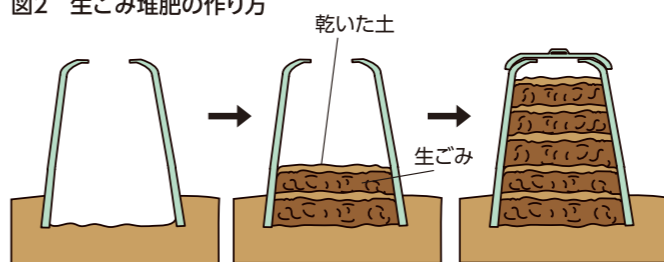


図2 生ごみ堆肥の作り方



が満杯になったら2個目に生ごみの投入を始めれば、ほぼ年間を通して生ごみの処理と堆肥作りができる(図2)。
 なお、生ごみ堆肥は窒素を5%程度含み、肥料効果が高いため、生ごみ堆肥だけで栽培するときには、1平方m当たり3~4kgにします。

ためしてみよう!! イチオシ商品

エコープ かつおだし



Aコープ・直販店で取扱中!
(店舗によっては取り扱いがない場合もございます。ご了承ください)

今年は自宅でお正月を過ごす人も多いのではないのでしょうか? 手作りおせちの方も増えそうです。おせち料理やお雑煮には美味しいおだしが不可欠♪「エコープ かつおだし」はかつお節の旨みエキスを抽出し、濃縮したものです。粉末のものと異なり、だし汁もスッキリきれいに仕上がるので、「ハレの日」のお食事にも大助かり!

えいのう〜



鳥獣被害対策 専門員からのお知らせ

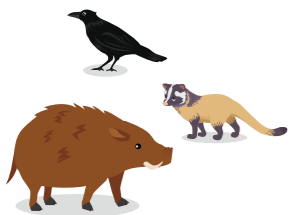
〈新しく就任しました!〉

鳥獣被害対策専門員 横佐古 優太



〈自己紹介〉

7月から鳥獣被害対策専門員に就任した横佐古優太です。
 春野・土佐市管内のほ場を荒らすイノシシ、ハクビシン、カラスなどの有害鳥獣被害対策のために被害調査を行い、勉強会を開催するなど地元との合意形成を図り、農地や作物を守る活動に取り組みます。



鳥獣害対策とは? 歴史と現在

「今までは被害がなかったのに、ここ数年で被害が発生するようになった」という声をよく聞きます。実は獣害の歴史は長く、古くから農家は野生動物との闘いを強いられていました。江戸時代の農家も被害に困り、その対策のため石をくみ上げて何キロにも及ぶシシ垣を作ったり、見張り小屋を建てて毎晩交代で番をしていたことが分かっています。

江戸時代まで、動物との攻防はずっと続いていたのですが、明治に入り状況が変わります。「獣害対策」が必要なくなったのです。そのきっかけとなったのは「狩猟の活性化」と「森林の減少」でした。明治に入ると狩猟が活発になり、捕獲数が増えました。また木材の過剰伐採によって動物の生息域が減少し、その結果、被害は減少したのです。

しかし段々と森林が回復し、動物の個体数・生息域も増加しました。そのため、動物と人間の生息域が重なるようになり、現在被害が発生するようになったのです。大切に育てた作物をめちゃくちゃに

されて、悔しい思いをした方もたくさんおられると思います。しかし、獣害は適切な対策を取ることです必ず防ぐことができます。大切なのは油断せず、また諦めずに「自分の農地は自分で守る」という意識を持つことだと思えます。そのために鳥獣被害対策専門員がおりますので、些細なことでもお気軽に相談して頂ければと思います。

お気軽にご相談ください!



鳥獣害被害についての お問い合わせ

春野・土佐市地区

鳥獣被害対策専門員 横佐古 優太
携帯電話: 090-3189-0373

コスモス地区

鳥獣被害対策専門員 真辺 忠志
電話: 08869-2217823
(コスモス営農経済センター)



鳥獣被害対策専門員 真辺 忠志

※鳥獣害対策はJAの地区分けとは異なりますので、ご注意ください。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています!

みんなのひろば

「今月の気になる人」の都筑正寛さん。いろんな国での経験を経て、他県の方が高知に住んで活動していることがすばらしい!

(斗賀野支所管内・Aさん74歳)

いつも知り合いが載っていないが、まず見ます。今回は「気になる人」のコーナーが好きです。でも、みなさんがんばっているのそれぞれ大好きです。

(戸波支所管内・Yさん63歳)

「相手を許す気持ち」の言葉、胸にしました。素晴らしい人生を過ごしておられると思います。どうぞいつまでもお幸せに。

(伊野支所管内・Nさん87歳)

山中さんご夫婦の結婚記念日は私の誕生日です。私は結婚39年目。お二人のように仲良く年を重ねていきたいと思っています。

(土佐市支所管内・Yさん64歳)

▼「今月の気になる人」は、みなさん毎回楽しみにしてくださっているようで、うれしです。私も毎月、4組のステキな方にお会いでき、学ぶところも多くあります。これからも地域の方の、魅力的なところをたくさんお伝えしていきたいと思っています!

「作ってみんかえく食べてみんかえく」の梨のスムージー♡作って飲んで、うまかったです。

(越知支所管内・Hさん62歳)

「作ってみんかえく食べてみんかえく」の梨のスムージー、さっそく作ってみました。家族にも美味しいねと好評でしたヨ。

(佐川支所管内・Mさん66歳)

直販所で買った梨を、毎日のように食べています。そのまま食べたり、ヨーグルトに混ぜて食べますが、梨のスムージーも美味しそうですね、作ってみたいと思います。

(佐川支所管内・Yさん52歳)

実家が梨農家だったので、梨の記事が出ていると見てしまいます。今の季節は、家族みんなが大好きな梨を求めて直販所に通っています。

(土佐市支所管内・Oさん48歳)

食欲の秋ですネ。みかん、柿など高知は美味しい果物が沢山ですネ。今年も新高梨を北海道、宮崎県に送ってよろこばれました。

(伊野支所管内・Oさん71歳)

▼12月になり、すっかり冬模様になりました。今年の秋はみなさん、梨を存分に楽しめたようですね。たくさん便りをいただきました! 梨はそのまま食べるのが一番! という声も多く寄せられました。農家さんがおいしく作ってくれた梨、いろんな形で楽しみたいです♡

女性部土佐市地区の草木染めを特に興味深く拝見しました。先日、玉ねぎ(畑で育てた)の皮で、綿のスカーフを染めました。やわらかい黄色になって感激しました。藍染めもやってみたいです。

(池川支所管内・Nさん63歳)

「れいほく寺子屋」で作ったハーバリウム。とてもきれいな花などをみて、いの町の方でもぜひやってほしいなと思いました。子どもが小さいので親子で遊ぶ企画など、やっていただければうれしいです。

(吾北支所管内・Nさん27歳)

▼コロナ禍でさまざまな行事が中止になりましたが、夏以降少しずつ、できる範囲で催しが行われるようになりました。大勢の人と一緒に、という行事はまだまだ難しいかもしれませんが、少しずつ、日常に近い形で、各地域での行事を再開したいと思います。

営農指導員の方たちが笑顔で私をトリコにして本当にうれしかったです。こんな若い人たちが指導されているとは、頼もしい限り。いろいろなよい記事もあります。このページにいる若者たちのさわやかさは心を癒してくれました。縁の下の力持ちのようなお仕事をこのさわやかな笑顔でがんばってくださいと心からエールを送りたいと思います。

(伊野支所管内・Nさん83歳)

▼合併したことにより、広域で指導員が情報交換しやすくなりました。「専門」指導員を育てることで、今まで以上に品質のものを消費者の元にお届けできるよう、一丸となって努めたいと思います!

紅アオイの花、最近よく見かけますが、お茶で楽しむことができるのは、是非試してみたいです。

(佐川支所管内・Yさん67歳)

年末年始のイベントについて

詳細については、各店舗へお問い合わせください。

- 長者事業所(仁淀支所)
12月22日 マグロ解体10時ごろ
12月30日 9時~15時
年末店頭販売(鮮魚など)
- 北原ふるさと市(土佐市支所)
12月25日 7時~15時
年末大売り出し
(お正月用品、しめ縄、北海道の幸など販売、お土産あり)
- 高石直販所(土佐市支所)
12月28・29・30日 7時~13時
歳の市 ※30日のみ12時まで
- サングリーンコスモスふれあい市(日高支所)
12月30日 6時~18時
12月31日 6時~13時
年末大売り出し
(鮮魚を中心にお正月用品を販売)

川柳・短歌・俳句・詩

うれしいなこんげつもみたこうぐりを
(池川支所管内・Yさん78歳)

にんじやの子猿田洞にて練習す
(土佐市支所管内・Mさん73歳)

庭あるき色づく柿に目を細め
(伊野支所管内・Nさん87歳)

登校の子らの足元彼岸花
(伊野支所管内・Kさん63歳)

▼実も枝も真っ赤で初めて見た時はびっくりしました。つぼみかと思っていた部分が、実というのまたびっくりで。生け花でも、アレンジメントでも、ワンポイントになつて素敵な花材ですよ。なおかつ、お茶でも楽しめちゃうなんて、すごいです!